

関東大会・関東選抜大会実施要項等の内容変更について

《関東大会》

(1) 参加料の変更

- ・少林寺拳法

(別紙申請書の通り)

(2) 開催地の変更

- ・テニス

「関東高等学校テニス大会」

変更内容 開催地の変更

令和 9 年度開催地 群馬県 令和 12 年度開催地 千葉県

→ 令和 9 年度開催地 千葉県 令和 12 年度開催地 群馬県

変更理由 令和 9 年度に全国高校総体のリハーサル大会として千葉県で開催したため。

(別紙申請書の通り)

- ・自転車競技

「関東高等学校自転車競技大会」

変更内容 開催地の変更

令和 14 年度開催地 群馬県

→ 令和 14 年度開催地 茨城県

変更理由 記載の誤り

(別紙申請書の通り)

- ・レスリング

「関東高等学校レスリング大会」

変更内容 開催地の変更

令和 10 年度開催地 神奈川県 令和 11 年度開催地 群馬県

→ 令和 10 年度開催地 群馬県 令和 11 年度開催地 神奈川県

変更理由 令和 10 年度に国民スポーツ大会のリハーサル大会として群馬県で開催したため。

(別紙申請書の通り)

- ・スケート（アイスホッケー）

「関東高等学校スケート大会（アイスホッケー競技）」

変更内容 開催地の変更

令和 13 年度開催地 群馬県 令和 14 年度開催地 栃木県

→ 令和 13 年度開催地 栃木県 令和 14 年度開催地 群馬県

変更理由 同年度にスピードスケート競技との 2 大会開催をさけるため。

(別紙申請書の通り)

(3) 日程の変更

・ボクシング

「関東高等学校ボクシング競技大会」

変更内容 日程の変更

令和8年度 5月30日(土)～6月1日(月)※5月5週目

変更理由 近年の全国高校総体の申込み締め切りが6月3～4週目になっており、各都県地区予選会が過密な日程になってしまうため。

(別紙申請書の通り)

・弓道

「関東高等学校弓道大会」

変更内容 日程の変更

令和8年度 5月30日(土)～5月31日(日)※5月5週目

変更理由 予定していた大会会場が6月から改修工事期間に入ってしまうため。

(別紙申請書の通り)

・卓球

「関東高等学校卓球大会」

変更内容 日程の変更

令和8年度 5月30日(土)～5月31日(日)※5月5週目

変更理由 大会会場の確保が他競技と競合し困難である。また全国高校総体申込み期限の関係で3週目での対応ができないため。

(別紙申請書の通り)

・スケート(スピードスケート)

「関東高等学校スケート大会」

変更内容 日程の変更

令和7年度 令和8年1月31日(土)

変更理由 日本スケート連盟主催大会の日程変更により、全日本選抜スピードスケート競技会と開催が重なり、他の会期への変更も困難なことから競技時間をずらして1日開催としたい。

(別紙申請書の通り)

・ソフトテニス

「令和9年度関東高等学校ソフトテニス競技大会」

変更内容 日程の変更

令和9年度 5月29日(土)～5月31日(月)※5月5週目

変更理由 近年の全国高校総体の申込み締め切りが6月3週目になっており、各都県地区予選会が過密な日程になってしまうため。

(別紙申請書の通り)

・水泳

「関東高等学校水泳競技大会」

変更内容 種別ごと別日程での開催

変更理由 近年屋外プールでの競技が酷暑により劣悪なコンディションになることが多く、熱中症対策と安心・安全な大会運営を行うため。

(別紙申請書の通り)

(4) 要項の変更

・弓道

「令和8年度関東高等学校弓道大会」

変更内容 参加校数(令和8年度限り)

変更理由 第70回記念大会として、各都県出場校を男女1枠増やして開催したいため。

(別紙申請書の通り)

・卓球

「令和8年度関東高等学校卓球大会」

変更内容 男女ダブルス参加出場数

変更理由 大会時間の短縮のため、開催地枠を男女2枠減らして開催したいため。

(別紙申請書の通り)

(5) 宿泊費の変更

・柔道

「令和8年度関東高等学校柔道大会」(埼玉県)

変更内容 宿泊費(1泊3食)の関東の申し合わせ12,100円の上限を超えてしまう。

A 15,950円 B 14,300円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ハンドボール

「令和8年度関東高等学校ハンドボール大会」(埼玉県)

変更内容 宿泊費(1泊3食)の関東の申し合わせ12,100円の上限を超えてしまう。

S 15,500円 A 14,800円 B 12,500円 C 11,500円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・フェンシング

「令和8年度関東高等学校フェンシング大会」(埼玉県)

変更内容 宿泊費(1泊3食)の関東の申し合わせ12,100円の上限を超えてしまう。

A 15,500円 B 14,000円 C 12,500円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・水泳

「令和８年度関東高等学校水泳競技大会」（神奈川県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

S 1 6, 2 0 0 円 A 1 4, 8 0 0 円 B 1 3, 8 0 0 円 C 1 2, 1 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・女子バスケットボール

「令和８年度関東高等学校女子バスケットボール競技大会」（神奈川県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 1 4, 6 0 0 円 B 1 4, 1 0 0 円 C 1 3, 1 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・レスリング

「令和８年度関東高等学校レスリング大会」（千葉県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 1 2, 1 0 0 円 B 1 3, 2 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ウエイトリフティング

「令和８年度関東高等学校ウエイトリフティング大会」（千葉県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 1 4, 1 0 0 円 B 1 3, 8 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・自転車競技

「令和８年度関東高等学校自転車競技大会」（千葉県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

【トラック競技】 A 1 4, 3 0 0 円 B 1 1, 5 0 0 円

【ロード競技】 A 1 2, 6 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・女子バレーボール

「令和８年度関東高等学校女子バレーボール大会」（千葉県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 1 5, 6 0 0 円 B 1 4, 6 0 0 円 C 1 3, 1 0 0 円 D 1 2, 1 0 0 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・弓道

「令和８年度関東高等学校弓道大会」（千葉県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 16, 500 円 B 16, 000 円 C 15, 300 円 D 14, 500 円 E 11, 000 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ボクシング

「令和８年度関東高等学校ボクシング大会」（茨城県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 15, 500 円 B 15, 000 円 C 14, 200 円 D 13, 500 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・陸上競技（駅伝）

「令和８年度関東高等学校駅伝競走大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 19, 000 円 B 16, 000 円 C 14, 000 円 D 12, 000 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・男子バレーボール

「令和８年度関東高等学校バレーボール男子大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 20, 800 円 B 18, 500 円 C 15, 500 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ホッケー

「令和８年度関東高等学校ホッケー大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 19, 500 円 B 18, 500 円 C 17, 500 円 D 16, 500 円

E 15, 500 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・なぎなた

「令和８年度関東高等学校なぎなた大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

15, 100 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ 少林寺拳法

「令和８年度関東高等学校少林寺拳法大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 18, 700 円 B 17, 200 円 C 15, 200 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ バドミントン

「令和８年度関東高等学校バドミントン大会」（東京都）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 17, 500 円 B 15, 500 円 C 14, 000 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ 剣道

「令和８年度関東高等学校剣道大会」（栃木県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 16, 800 円 B 15, 300 円 C 14, 300 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ スケート（アイスホッケー）

「令和７年度関東高等学校アイスホッケー競技大会」（群馬県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

A 17, 400 円 B 13, 000 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ ラグビー

「令和８年度関東高等学校ラグビーフットボール大会」（群馬県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

S 17, 500 円 A 15, 500 円 B 12, 000 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

・ 女子サッカー

「令和８年度関東高等学校女子サッカー大会」（群馬県）

変更内容 宿泊費（１泊３食）の関東の申し合わせ 12,100 円の上限を超えてしまう。

S 15, 400 円 A 14, 300 円 B 13, 200 円 C 12, 100 円

変更理由 近年の物価高騰等のため。

(別紙申請書の通り)

(6) 出場数・出場枠確定の報告

・ テニス

「令和8年度関東高等学校テニス大会」

報告内容 令和7年度大会の結果による団体出場枠の確定

(別紙申請書の通り)

・ 体操競技・新体操

「令和8年度関東高等学校体操競技・新体操大会」

報告内容 令和7年度大会の結果による出場補充枠の確定

(別紙申請書の通り)

《関東選抜大会》

(1) 開催地の変更

・ ソフトテニス

「関東高等学校選抜ソフトテニス大会」

変更内容 開催地の変更

変更理由 令和9年度南関東インターハイ開催都県の都合上、変更が必要なため。

(別紙申請書の通り)

令和7年度11月4日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟少林寺拳法専門部
部長 新井 高広
(公 印 省 略)

関東高等学校少林寺拳法大会参加料の変更について

平素より本専門部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、以下の通り、関東高等学校少林寺拳法大会の参加費の変更を申請いたします。
つきましては、諸事情をご理解いただき、承認くださいますようお願い申し上げます。

記

- | | | | |
|---|------|---|----------|
| 1 | 変更前 | 団体1チーム | 9, 000円 |
| | | 組演武1組 | 3, 000円 |
| | | 単独演武1名 | 1, 500円 |
| 2 | 変更後 | 団体1チーム | 12, 000円 |
| | | 組演武1組 | 4, 000円 |
| | | 単独演武1名 | 2, 000円 |
| 3 | 変更理由 | 昨今の物価高騰に伴い、審判の宿泊費、役員の食糧費、集計機
材レンタル料などの諸費用が増加したことにより、財政が逼迫
しております。現状、会議費など、削減できるところから支出を
賄っていますが、限界が近付いています。
そこで、今後の大会運営を安定化させるためにも、参加費の値
上げはやむを得ないという判断を致しました。 | |

以上

関東高等学校体育大会参加料の変更について

令和7年11月5日現在

	競技名	変更前		変更後	
		個人	団体	個人	団体
1	陸上競技	2,100		3,000	
	駅伝競走		20,000		30,000
2	体操	2,100	20,000	3,000	30,000
3	バスケットボール		20,000		30,000
4	バレーボール		20,000		30,000
5	ソフトテニス	2,100	20,000	3,000	30,000
6	ソフトボール		20,000		30,000
7	卓球	2,100	20,000	3,000	30,000
8	ラグビー		20,000		30,000
9	ハンドボール		20,000		25,000
10	バドミントン		20,000		30,000
11	サッカー		20,000		30,000
12	柔道	2,100	20,000	3,000	30,000
13	剣道	2,100	20,000	3,000	30,000
14	相撲	1,000	20,000	2,000	30,000
15	レスリング	2,100		3,000	
16	ボクシング	2,100		3,000	
17	弓道		30,000	3,000	30,000
18	水泳	2,100	20,000	3,000	30,000
19	ボート	2,100	20,000	3,000	30,000
20	登山				
21	自転車	2,100		3,000	
22	テニス	2,100	20,000	3,000	30,000
23	スキー	3,000		4,000	
24	スケート	2,100	20,000	3,000	30,000
25	フェンシング	2,100	20,000	3,000	30,000
26	ウエイトリフティング	2,100		3,000	
27	ヨット				
28	ホッケー		20,000		30,000
29	空手道	2,100	20,000	3,000	30,000
30	アーチェリー	2,100	20,000	3,000	30,000
31	なぎなた				
32	ライフル射撃	2,000	5,000	3,000	15,000
33	カヌー				
34	少林寺拳法	1,500	9,000	2,000	12,000

令和7年4月12日

関東高等学校体育連盟

会長 田島正徳 様

関東高体連テニス専門部
部長 井田 敦



関東高等学校テニス大会開催県変更について（申請）

平素より、本専門部の活動に対し、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
さて、標記の件につきまして、下記の通り開催県の変更を申請いたします。何卒ご理解いただき、ご承認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 開催年度および開催県変更

変更前 令和9年度群馬県 令和12年度千葉県

変更後 令和9年度千葉県 令和12年度群馬県

2 変更理由

令和9年度に全国高校総体テニス競技が千葉県で開催されることが決定したため、同年度に関東大会本大会を該当県で実施し、全国高校総体の準備大会としたい。

以上

関東高体連テニス専門部

部長 井田 敦

〒373-0033

群馬県太田市西本町 12-2

群馬県立太田高等学校

TEL:0276-31-7181

FAX:0276-31-9161

令和 7年 4月 24日

関東高等学校体育連盟

会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟自転車競技専門部

部長 奥脇 次郎

(公印省略)

関東高等学校自転車競技大会の開催地の変更について（申請）

平素より本専門部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、以下の通り、関東高等学校自転車競技大会の開催地の変更を申請いたします。

つきましては、諸事情をご理解いただき、承認くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 変更前 令和14年度 群馬
- 2 変更後 令和14年度 茨城
- 3 変更理由 昨年度提出した関東大会開催予定調査に間違って記載したため。

令和7年6月30日

関東高等学校体育連盟

会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟
レスリング専門部
部長 武 富 恒 徳



関東高等学校レスリング大会開催主管県の変更について（申請）

平素より、本専門部の活動に対し、御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり主催主管県の変更を申請いたします。御理解を頂き、御承認いただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 変更前 令和10年度関東高等学校体育大会主催主管県 神奈川県
 令和11年度関東高等学校体育大会主催主管県 群馬県
- 2 変更後 令和10年度関東高等学校体育大会主催主管県 群馬県
 令和11年度関東高等学校体育大会主催主管県 神奈川県
- 3 変更理由 令和11年度国民スポーツ大会が群馬県で開催される予定であり、
 前年度（令和10年度）中に、群馬県がそのリハーサル大会として、
 関東大会を開催したいため。

以上

令和7年4月14日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟
スケート専門部長 余宮 賢
(公印省略)

関東高等学校スケート大会（アイスホッケー競技）の開催地
変更について（申請）

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、本専門部の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会につきまして、下記のように変更を申請いたします。何卒ご理解をいただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 当初開催地 令和13年度 群馬県
 令和14年度 栃木県
2. 変更後の開催地 令和13年度 栃木県
 令和14年度 群馬県
3. 変更理由 両県専門部で、話し合いにより了承済である。
 同年度にスピードスケート競技との2大会開催を避けるため。

以上

【問い合わせ先】

関東高等学校体育連盟スケート専門部委員長 秋山 大輔
明治大学附属中野高等学校 TEL03-3362-8704・FAX03-3368-3113

【担当】

群馬県高等学校体育連盟スケート専門部委員長 石山雅一
高崎工業高校 TEL 027-323-5450・FAX 027-325-1427

令和 7 年 4 月 25 日

関東高等学校体育連盟
会 長 田島 正徳 殿

関東高体連ボクシング専門部
部 長 平 野 邦 明
《公印省略》

令和 8 年度関東高等学校ボクシング大会日程変更について

時折、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本専門部の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会につきまして、下記のように変更を申請いたします。何卒ご理解をいただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 当初日程 令和 8 年 6 月 6 日（土）～6 月 8 日（月） 3 日間
- 2 日程変更 令和 8 年 5 月 30 日（土）～6 月 1 日（土） 3 日間
- 3 変更理由 インターハイの日程が例年より早く、予選が 6 月第 2 週に控えている県もある。選手の健康管理を最優先にし、日程変更をお願いしたい。

以上

【問い合わせ先】

茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校
ボクシング専門部 田崎宗佑
〒311-4306 東茨城郡城里町春園 1634
電話 029-288-2028
メール : tasaki.sousuke@post.ibk.ed.jp

令和7年10月2日

関東高等学校体育連盟

会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟弓道専門部

部長 鈴木 伸幸

令和8年度第70回関東高等学校弓道大会の日程変更について（申請）

平素より、本専門部の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり日程の変更を申請致します。何卒ご理解いただき、御承認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 変更前

令和8年6月 5日（金） 開会式
6月 6日（土） 団体戦予選1回目・個人戦
6月 7日（日） 団体戦予選2回目・決勝トーナメント戦

2 変更後

令和8年5月29日（金） 開会式
5月30日（土） 団体戦予選1回目・個人戦
5月31日（日） 団体戦予選2回目・決勝トーナメント戦

3 変更理由

6月第1週目に千葉ポートアリーナで開催を予定していたが、会場の都合で6月から改修工事が入ることとなり、開催ができなくなってしまった。これから同規模の代替会場を見つけることは難しく、千葉ポートアリーナが5月最終週であれば実施可能ということから、日程を変更させていただきたく、申請致します。

問い合わせ先

関東高等学校体育連盟弓道専門部

委員長 中沢 友二

甲府市立甲府商業高等学校

〒400-0845

山梨県甲府市上今井町300番地

TEL 055-241-7511

令和7年9月14日

関東高等学校体育連盟

会 長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟卓球専門部

部 長 稲葉 尚幸

(公印省略)

令和8年度関東高等学校卓球大会日程の変更について（申請）

平素より本専門部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会につきまして下記のとおり日程の変更を申請いたします。何卒ご理解いただき、ご承認くださいますようお願いいたします。

記

1 変更日程 令和8年5月29日（金）開会式

5月30日（土）競技1日目

5月31日（日）競技2日目 閉会式

2 変更理由 令和8年度は栃木県に3競技が招致され、いずれの競技も大きな会場でないと開催が困難であるという課題が出された。バスケットボールは8年前には2市をまたぐ2会場、卓球は終了時間が20時以降、剣道は駐車場や役員の問題で対応できないとの理由から同会場に希望が集まり、その対応のため1競技が前の週に開催することとなった。インターハイの申し込みを考えた場合、3週目への対応はできないため、この日程での開催を希望します。

令和7年9月29日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟
スケート専門部長 余宮 賢
(公印省略)

令和7年度関東高等学校スケート大会第32回関東高等学校スケート競技
選手権大会(スピード競技)の要項及び日程変更について(申請)

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、本専門部の活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記大会につきまして、下記のように変更を申請いたします。何卒ご理解をいただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1. 当初会期 | 令和8年1月31日(土)～2月1日(日) |
| 2. 変更後の会期 | 令和8年1月31日(土) |
| 3. 要項変更 | 会期を1日開催。競技時間の変更。 |
| 4. 変更理由 | オリンピック開催年の為、日本スケート連盟主催大会の日程変更があり、2025/26全日本選抜スピードスケート競技会伊香保大会開催日が、令和7年度関東高校スケート大会(スピードスケート競技)と会期・会場が重りました。他の会期を検討したが、移動できる日程がないため、全日本選抜大会と競技時間をずらして、1日開催としたい。 |

以上

【問い合わせ先】

関東高等学校体育連盟スケート専門部委員長 秋山 大輔
明大中野高校 TEL03-3362-8704・FAX03-3368-3113

【担当】

群馬県高等学校体育連盟スケート専門部委員長 石山雅一
高崎工業高校 TEL 027-323-5450・FAX 027-325-1427

令和 7 年9月2日

関東高等学校体育連盟 会長様

関東高等学校体育連盟ソフトテニス専門部
部長 林 順一

令和9年度関東高等学校ソフトテニス大会の日程について(依頼)

処暑の候、平素より本専門部の活動にご指導援助を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、埼玉県で開催予定の令和9年度関東高等学校ソフトテニス大会(以下関東大会)の開催時期につきまして、下記の通りの日程を希望致します。例年は6月第1週での開催となっておりますが、変更理由等の事情をご賢察の上、認可をいただければ幸いに存じます。

記

【例年通りの日程】

令和9年6月 4日(金) 開会式
令和9年6月 5日(土) 競技(女子個人戦・男子団体戦)
令和9年6月 6日(日) 競技(男子個人戦・女子団体戦)
令和9年6月 7日(月) 競技(予備日)

【変更希望日程】

令和9年5月28日(金) 開会式
令和9年5月29日(土) 競技(女子個人戦・男子団体戦)
令和9年5月30日(日) 競技(男子個人戦・女子団体戦)
令和9年5月31日(月) 競技(予備日)

【変更理由】

例年、全国高校総体ソフトテニス競技の申し込み締め切りが6月第3週目の前半となっており、各都道府県の全国総体予選は関東大会翌週の6月第2週で実施されている。例年通りの日程で関東大会を実施した場合、約1週間の日程(6/8～13)で全国総体県予選を実施するというハードな日程となる。また、6月第1週で実施した過去3大会は台風や雷雨の影響で予備日に延期している。さらに、近年の暑熱環境等の状況を鑑みると、少しでも環境のよい状態で実施することが望ましいと考える。

以上のような観点から、関東大会を5月最終週の日程に変更したい。

以上

【資料】 令和9年度5月・6月日程

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1	30	31	1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	1	2	3
30	31	1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10

* 黒○・・・全国総体申込締め切り

* 黒□・・・関東大会予定

* 赤□・・・関東大会変更希望日程

令和7年8月7日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟
水 泳 専 門 部
部 長 塩 沢 和 明

関東高等学校体育大会水泳競技大会の種別ごと別日程での開催について（伺い）

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本専門部の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、近年屋外プールでの競技が酷暑により劣悪なコンディションになることが多く、日本水泳連盟ガイドラインと照らし、熱中症対策と安心・安全な大会運営を行うために競泳・飛込・水球の種別を別日程で開催することを検討しております。下記の事情を勘案いただき、何卒ご理解、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

記

現状

- ・関東高体連要覧の5 関東高等学校体育大会に関する申し合わせ事項には

1 大会の期間について「イ 開会式を含め3日を認めている種目…水泳」と記載されている。

- ・R5 東京大会 競泳(屋内)：7/21(金)～23(日) 飛込(屋内)：7/21(金)～22(土) 水球(屋内)：7/23(日)～25(火)

R6 茨城大会 競泳(屋内)：7/20(土)～22(月) 飛込(屋内)：7/20(土)～21(日) 水球(屋外)：7/20(土)～22(月)

R7 埼玉大会 競泳(屋外)：7/19(土)～21(月) 飛込(屋外)：7/19(土)～20(日) 水球(屋外)：7/19(土)～21(月)

R5 東京は三種別とも東京アクアティクスセンターで行ったため日程をずらしての開催しかできなかった。R6 茨城・R7 埼玉は外プールで実施したが、選手・チームスタッフ・競技役員・観客に熱中症が疑われる、もしくは実際に熱中症で病院に搬送された方がいた。

- ・同日開催となると参加人数の多い競泳が屋内プールを使用して、水球が屋外プールでの実施となるケースが多い。

- ・別紙参照

水泳競技における熱中症対策ガイドライン（日本水泳連盟）によると、競技会の運営の判断基準として WBGT 値 28～30 では「熱中症に嚴重警戒が必要（時間変更を検討）、会場内への注意喚起」

WBGT 値 31～では「通常での開催は推奨されず、総合的判断が必要」と記載されている。

R7 埼玉関東高校（水球 屋外）のプールコンディションでは大会3日目のほとんどの時間で WBGT 31 を超えている。また、R7 国スポ関東ブロック予選（水球 屋外）のプールコンディションでは、各日 12 時以降 WBGT 31 を超えている。

- ・屋外プールで熱中症対策（テント・冷風機・ミストシャワー・アイスバスなどの設置）を講じていた。

提案

- ・三種別とも屋内プールで実施することが安心・安全な大会運営につながると考える。そのために、種別ごと日程をずらして大会を開催することをお認めいただきたい。

R7関東大会@大宮公園 プールコンディション報告

大会日	Game No	時間	気温	水温	WBGT数値		
					WBGT	周囲温度	湿度
大会一日目 7月19日	Game No1	8:30	32.0	27.5	30.1	37.7	36.5
	Game No2	10:00	33.0	28.0	29.1	40.2	26.2
	Game No3	11:00	34.5	28.0	28.3	39.0	26.1
	Game No4	12:00	34.5	28.0	27.9	37.4	27.6
	Game No5	13:00	36.0	28.0	27.4	37.4	26.7
	Game No6	14:00	34.0	28.0	27.6	36.2	33.4
	Game No7	15:00	33.5	28.0	27.0	34.4	39.0
	Game No8	16:00	34.0	28.0	27.0	34.0	41.2
大会二日目 7月20日	Game No9	8:30	31.0	27.5	30.3	39.6	28.1
	Game No10	10:00	34.0	28.0	29.3	38.6	24.2
	Game No11	11:00	36.0	28.0	30.6	40.4	26.0
	Game No12	12:00	36.0	28.0	30.6	41.1	25.7
	Game No13	13:00	39.0	28.0	30.6	39.8	28.9
	Game No14	14:00	37.0	28.0	30.7	39.6	31.0
	Game No15	15:00	36.0	28.0	29.7	36.5	38.3
	Game No16	16:00	35.0	28.0	29.6	36.4	38.8
大会三日目 7月21日	Game No17	9:00	35.0	28.0	31.0	38.5	35.8
		10:00	35.0	28.0	31.1	39.3	31.6
	Game No18	11:00	37.0	28.0	32.8	43.2	26.5
		12:00	34.0	28.5	29.2	38.2	32.8
	Game No19	13:00	37.0	29.0	31.8	41.3	36.4
		14:00	35.0	29.0	31.1	39.1	34.7
	Game No20	15:00	39.0	29.0	30.7	39.2	33.5

↑※各数値の高いところにマーク

- ・公園側の協力で、大会期間中は常に注水(地下水)をして頂いたこともあり水温は30℃を超えることなく、ほぼ28℃をキープすることができていた。
- ・1日目は風もあり、例年の大宮公園より涼しく感じられるほどであった。
- ・2日目以降、風のないプールサイドでは気温39℃に上ることもあった。WBGT値も常に28を超え31を超えることも多々あった。
- ・各チームベンチ、オフィシャル本部テント、各更衣室(当日は男女ではなく各チームに開放した)にスポットクーラーを設置し、熱中症対策にあたった。更衣室では扇風機も回し、待機場所として試合前後のチームに開放。他に近隣の中学校にご協力いただき図書室も待機場所として開放。
- ・大会直前に急遽、神奈川工業チームよりアイスバスの貸し出し提案があり、当日設置した。各ベンチ後ろに水を張って設置。本部からの氷は最小限でしか準備できず、各チームにも氷の準備を協力依頼した状況。
- ・スタンド観客席については「基本的に該当試合のみ」というアナウンスを事前に流していたこともあり、試合時間以外はガラガラの状態であった。

※以上のような熱中症対策が功を奏し、熱中症患者(報告)はゼロで大会を終えることができたが、水球という競技を実施する環境としては、危険な状況と感じた。可能であれば室内プールの適切な環境下で大会運営を実施するのが望ましいのではないだろうか。

【R 7 関東ブロック大会 環境状況】

	8月2日（土）	8月3日（日）	8月4日（月）	8月5日（火）
9:00	気温 31.5度 WBGT28.5	気温 31.7度 WBGT 28.8	気温 31.5度 WBGT 28.8	気温 34.1度 WBGT 31.4
12:00	気温 37.7度 WBGT 32.8	気温 35.5度 WBGT 31.8	気温 36.5度 WBGT 32.1	気温 38.6度 WBGT 33.9
15:00	気温37.4度 WBGT 32.3	気温 36.2度 WBGT 32.0	気温 37.3度 WBGT 32.6	
水温	28.3度	28.5度	28.5度	29.0度

水泳競技における熱中症対策ガイドライン

Ver1.4 (2025.05.08)

1. はじめに

本ガイドラインは、水泳競技に関わる全ての関係者（選手、役員、コーチ、観客等）を熱中症から守り、その健康と安全を守ることを目的としている。水泳競技における熱中症リスクは、一般的には他の屋外競技と比較して低いとされている。しかしながら、近年の地球温暖化による気温上昇の影響で、水泳中の熱中症による救急搬送事例や一部で死亡例も報告されている。

水中でも、水温が高く運動強度が増すと発汗する。しかし、陸上でのように汗が蒸発して体温を下げる効果（気化熱による冷却）は、水中ではほとんど期待できない。そのため、水中での体温調節は、主に体から周囲の水へ直接熱が移動する現象（熱伝導）によって行われる。水は空気よりも熱を伝えやすいため、水温が体温調節、ひいては熱中症のリスクに非常に大きな影響を与える。一般に「中性水温」とされる 33～34℃を超える水温下では、安静にしているだけでも深部体温が上昇するとされており、競技会開催時には水温に応じたリスク分類と判断基準の整備が求められる。

また、競技会会場の周辺環境も重要である。熱中症リスク評価には、一般に WBGT (Wet Bulb Globe Temperature：暑さ指数) が用いられており、プールサイドや観客席、選手控え場所などでの測定と、それに基づく対応が必要である。WBGT の単位は℃であるが、気温との混同を避けるため、単位を省略して記載する。

2. 環境測定方法と判断基準

2.1 水中の基準

メインプールおよびサブプールの水温測定を必須とし、競技開催の判断はメインプールの水温を基準とする。測定間隔は当日の熱中症リスクに応じてリスクが高い場合は 2 時間ごと、熱中症リスクが低い場合は 4 時間ごとの測定が推奨される。国際水泳連盟 (World Aquatics) の Open Water Swimming (OWS 温度測定基準に則り、水深 40cm 付近の水温を計測すること。

メインプール水温 対応方針

～28℃	通常の競技会開催を推奨
29℃～31℃	長距離種目も含め開催可能だが、熱中症への注意が必要
32℃～33℃	長距離種目の中止や時間変更を検討、短・中距離種目も注意が必要
34℃～	競技会開催の中止を含めた判断が必要

国際水泳連盟（World Aquatics）の規定では、競泳競技の推奨水温は 25～28℃、オープンウォーター競技では 16～31℃とされている。これを参考に、プール水温 28℃以下での競技開催を推奨する。ただし、屋外プールでは水温管理が困難な場合もあるため、29～31℃であれば競技会の開催は許容されうる。32～33℃の場合、長距離種目は熱中症リスクが高まることを考慮し、長距離種目の中止または競技時間の変更が検討される。また、短・中距離種目でも十分に注意が必要である。水温が 34℃を超える場合は、原則として開催は推奨されないが、WBGT 値、レース前後の環境調整（待機場所やクールダウン環境など）、種目特性などを考慮して、主催者による総合的判断が求められる。リスクが高い日程で競技会を予定する場合、予備日の設定も検討される。

飛込競技は国際水泳連盟（World Aquatics）の基準で 28℃以下にならないことが求められている。上限に関しては上記記載に準じ、短・中距離種目と同等の扱いとする。水球競技は国際水泳連盟（World Aquatics）の基準で 25～27℃での開催が求められている。水温の上限に関しては上記に準じ、長距離種目と同等の扱いとする。Artistic Swimming 競技（AS）は国際水泳連盟（World Aquatics）の基準で 27℃以下にならないことが求められている。上限に関しては上記記載に準じ、短・中距離種目と同等の扱いとする。OWS は国際水泳連盟（World Aquatics）の基準で 16～31℃での開催が求められている。上限に関しては上記記載に準じ、長距離種目と同等の扱いとする。

短・中距離種目：50～400m、飛び込み、AS

長距離種目：800m～、水球、OWS

2.2 プール周囲の環境基準（WBGT）

屋内・屋外を問わず、WBGT を適切に測定できる機器を用い、選手控え場所やプールサイドなどで定期的に測定する。スタンドの上方や日が当たる場所など、測定値が上昇しやすい場所での計測が望まれる。測定間隔は当日の熱中症リスクに応じてリスクが高い場合は 2 時間ごと、熱中症リスクが低い場合は 6 時間ごとの測定が推奨される。熱中症リスクが高いとは、環境省の熱中症予防情報サイト（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）で、予測 WBGT 値が 26 以上である時に、屋外プールで競技会が開催される場合とする。

競技会の主催者は、測定された WBGT 値により競技会の運営を判断する。水泳競技は熱中症のリスクは低いとされており、選手の熱中症リスクは前述のように水温に大きく左右される。そのため、WBGT 値だけで競技会の開催を判断するものではないが、待機中の選手・競技役員や観客は、陸上での活動であり、WBGT による判断も求められる。22 以上の場合、熱中症が起こる危険性は低い可能性があることを留意する。25 以上の場合は、熱中症への警戒が必要であり、会場内への注意喚起が推奨される。28 以上の場合、熱中症への嚴重警戒が必要であり、可能であれば試合時間の変更なども検討される。会場内への注意喚起を行い、観客に十分注意を促し、競技役員にも十分な配慮が必要である。31 以上の場

合、水温が許容範囲内であれば、競技自体の熱中症リスクはそこまで高くない可能性があるが、競技役員や観客の熱中症リスクはかなり危険な状態になることを理解する必要がある。そのため、観客の制限を行ったり、競技役員への特別な配慮を行ったりすることにより、開催は許容されうるが、主催者による総合的な判断が求められる。

WBGT 値 判断基準

～21	通常の競技会開催
22～24	熱中症に注意が必要（積極的な水分補給）
25～27	熱中症に警戒が必要（水分補給や休憩の徹底）、会場内への注意喚起
28～30	熱中症に嚴重警戒が必要（時間変更を検討）、会場内への注意喚起
31～	通常での開催は推奨されず、総合的判断が必要

なお、厚生労働省の「労働安全衛生規則」が改正され令和7年6月1日から施行される。この改正により、WBGT28以上の環境下での長時間作業（1時間以上または1日4時間超）において、早期発見体制や対応手順の整備、作業員への周知を**事業者**に義務づける内容が、罰則規定を設けて示されている。水泳競技会場の運営においても、安全配慮義務の参考として重要であり、WBGT28を超える環境下ではリスクの周知、活動の調整、休憩・冷却対応の準備などを行うことが望まれる。

3. 熱中症の予防対策

3.1 一般的な予防策

- 医師または看護師が常駐した救護所の設置
- 緊急時の体制確立
 - 緊急連絡体制の確立と周知
 - アイスバスの設置・アイスタオルの準備
 - 深部体温測定機材（鼓膜温または直腸温）の準備
 - 酷暑日には救急搬送までの時間が長くなる可能性を考慮
- 選手・役員の定期的な水分摂取の推奨
- WBGTの定期的測定と会場内への情報共有、必要に応じて注意喚起
- 氷や冷たいスポーツドリンク、経口補水液の常備（自販機の補充にも注意）
- 空調の効いた休憩所の確保
- 高温時間帯を避けた競技時間の設定
- 冷却グッズ（アイススラリー・ミストファン・ネッククーラーなど）の準備や使用の推奨
- 選手控えや観戦スタンドが日陰となるようにテントやターフを設置

- 熱中症リスクが高く屋外プールの場合、乳幼児の観戦は控えるように注意喚起

3.2 水泳特有の対策（特に屋外プール）

- 新鮮水の追加などによる水温の管理
- プールサイドでの散水による熱傷防止やサンダルなどの使用
- レース前の選手・競技役員待機場所への日陰の確保（テント等の設置）
- 日差しを避ける動線の整備
- 濃い色の服は推奨せず、薄着を心がけ、帽子の着用を推奨
- 役員や観客は日焼け止めの使用を推奨、選手の日焼け止め使用の可否はプール使用規則や競技規則に則り判断

3.3 対象者別の対策

選手（年齢・経験に応じた配慮）

- 体調の自己管理徹底、体調不良時の連絡体制を確認
- ウォーミングアップやクールダウンでも注意が必要
- 小児は自覚症状が乏しい場合があり、判断力も乏しく、熱中症リスクが高いため、特に注意が必要
- 屋内練習に慣れた選手は屋外環境への対応力が低いため、事前の注意喚起を行う
- シリコンキャップなど熱がこもるものの装着は最小限にする

競技役員・コーチ・保護者・観客

- 休憩ローテーションの確保（屋外では45～60分程度での交代を推奨）
- リスクの高い競技会では選手と競技役員の兼務は控える
- 水分摂取を励行、必要に応じてレース間の水分接種も検討
- 睡眠・栄養状態の確認
- 脱水状態確認のため、尿色の確認を推奨
（尿色については参考資料を参照：熱中症の予備軍「隠れ脱水症」の見つけ方）
- 暑熱に弱い体質の人（高齢者、肥満、暑さに慣れていない人）への注意喚起
- スポットクーラーの設置やクールベストや帽子の使用を考慮

障がいや持病のある選手

- 体調変化に気づきにくい、または伝えにくい場合があるため、周囲の観察と支援が重要
- 脊髄損傷など発汗ができない選手には特別の注意が必要
- 事前に選手本人や介助者、コーチ等と連携し、個々の特性に応じた具体的な配慮事項（水分補給のタイミングや方法、体調確認の手段、コミュニケーション方法など）を確認・共有しておく体制を整えることが望ましい

4 熱中症対応フローチャート

日本スポーツ振興センターの「熱中症への対応」を参考。必要に応じて QR コードなどで情報共有を行う。

(https://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen_school/R3poster/B2_poster_nettyusyou.pdf)



【参考資料】

熱中症の予備軍「隠れ脱水症」の見つけ方

(<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/001088385.pdf>)

World Aquatics/ Competition Regulations

(<https://www.worldaquatics.com/rules/competition-regulations>)

Swimming 16.1.13.1 競泳競技における水温基準

OWS 9.1.6.3 OWS における水温基準と測定方法

11.4.7 水温規定

Diving 13.1.5 水温基準

Water Polo 18.1.4 水温基準

AS 27.1.5.2 水温基準

医事委員会 暑熱対策に関する検討グループ作成

2025 年 5 月 14 日 第 1 版

令和7年8月26日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟弓道専門部
部長 鈴木 伸幸

令和8年度第70回関東高等学校弓道大会参加校数の変更について（申請）

平素より、本専門部の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおり参加校数の変更を申請致します。何卒ご理解いただき、御承認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 変更前

男女団体競技 5人立

男女出場校数 24校（各都県男女3校）

2 変更後

男女団体競技 5人立

男女出場校数 32校（各都県男女4校）

3 変更理由

令和8年度に実施される関東高等学校弓道大会は70回目をむかえ、第70回記念大会として今大会に限り、各都県出場校を男女1枠増やして開催させていただきたく、申請致します。

問い合わせ先

関東高等学校体育連盟弓道専門部

委員長 中沢 友二

甲府市立甲府商業高等学校

〒400-0845

山梨県甲府市上今井町300番地

TEL 055-241-7511

関東高等学校体育連盟
会 長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟卓球専門部
部 長 稲葉 尚幸
委 員 長 星野 朗

令和8年度関東高等学校卓球大会における参加出場数の変更について

時下、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本専門部の事業に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、表記大会について、以前から課題となっていました大会時間の短縮のために本専門部で協議した結果、男女ダブルスの参加数を下記のように減少することでラウンドを揃え、試合時間の短縮を計りたいと思います。何卒ご理解いただきご承認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 変更前

令和7年度

都県	東京	神奈川	千葉	山梨	埼玉	栃木	群馬	茨城	開催地	合計
参加数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18

2 変更後

令和8年度

都県	東京	神奈川	千葉	山梨	埼玉	栃木	群馬	茨城	開催地	合計
参加数	2	2	2	2	2	2	2	2	0	16

3 変更理由

参加者数の減少は、競技者数が多い競技としては生徒の可能性を狭くすることに繋がるためなるべく避けたいところでありましたが、試合終了時間との関係を考え減少します。トーナメントで開催しているため、ラウンドが揃うことで同時刻に試合を実施することができることで待ち時間を無くすることができる。

4 今後の展望

しかし、今回の参加者数削減は、関東高等学校体育大会開催基準要項の開催趣旨にある、高等学校教育の一環として、広くスポーツの実践の機会を与え、技術の向上と気力の充実をはかり、心身ともに健全な高等学校生徒を育成するとともに、生徒相互の友情をはぐくみ、次代の担い手としての素地を養成する。という目的に対して、登録生徒数と比較しても参加生徒数が少なすぎると感じています。また、他ブロックでは日数が長いため多くの参加者が大会に参加する機会があり、大会参加の経験が競技力向上や、生徒の大学進学等のチャンスに繋がっている現状があります。競技の特性があること、過去の歴史、大会の権威等も考え適正な大会開催を目指していきたい。

令和5年度登録者数

都県	東京	神奈川	千葉	山梨	埼玉	栃木	群馬	茨城	合計
男子	3542	2526	2032	361	2823	853	717	1106	13960
女子	1380	831	1380	215	1105	331	319	445	5350

以上

関東高等学校体育連盟会長 様

令和 7 年 6 月 9 日

関東高体連テニス専門部
部長 井田 敦

令和8年度関東高等学校テニス大会の団体戦の出場数について

平素より当専門部の事業に対し、深いご理解とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

来年度(山梨大会)の関東高等学校テニス大会の団体戦の出場数が、今年度の関東大会の結果をもとに確定致しましたので、ご報告致します。

開催県

	埼玉	神奈川	東京	千葉	群馬	栃木	山梨	茨城	合計
基本数	3	3	4	3	2	2	2	2	21
男子	3	4	4	4	2	2	3	2	24
女子	3	4	5	3	2	2	3	2	24

問い合わせ先

関東高体連テニス専門部事務局

茨城県立江戸崎総合高等学校 大滝 慶人

TEL 029-892-2103

令和 7 年 10 月 16 日

関東高等学校体育連盟

会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟体操専門部

部 長 田 中 聡



令和 8 年度関東高等学校体操競技・新体操大会のチーム補充割り振りについて

平素より当専門部の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 8 年度の関東高等学校体操競技・新体操大会のチーム出場数が参加制限に満たない場合の補充につきまして、令和 7 年度関東大会の結果をもとに、下表の通り割り振らせていただきますのでご了承のほどお願いいたします。

	割 り 振 り 順		
	1	2	3
体操競技 男子	埼玉県	栃木都	東京都
体操競技 女子	埼玉県	群馬県	東京都
新体操 男子	千葉県	埼玉県	群馬県
新体操 女子	東京都	東京都	千葉県

問合せ先

関東高体連体操専門部事務局

(日本大学豊山高等学校内)

委員長 荻 俊樹

TEL 03-3943-2161

令和7年8月19日

関東高等学校体育連盟
会長 田 島 正 徳 様

関東高等学校体育連盟ソフトテニス専門部
部長 林 順 一
(公印省略)

関東高等学校選抜ソフトテニス大会の開催地の変更について（申請）

平素より本専門部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、以下の通り、関東高等学校選抜ソフトテニス大会の開催地の変更を申請いたします。
つきましては、諸事情をご理解いただき、承認くださいますようお願い申し上げます。

記

1 変更前

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	備 考
(男子)	東京	群馬	東京	茨城	東京	男女交互で東京と
(女子)	千葉	東京	山梨	東京	埼玉	他県で開催

2 変更後

	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	備 考
(男子)	東京	群馬	東京	山梨	東京	男女交互で東京と
(女子)	千葉	東京	茨城	東京	埼玉	他県で開催

3 変更理由

当該年度に山梨県で全国高等学校総合体育大会が開催されることから、開催地における負担軽減を図るため。

令和7年8月7日

関東高等学校体育連盟
会長 田島 正徳 様

関東高等学校体育連盟
水 泳 専 門 部
部 長 塩 沢 和 明

関東高等学校体育大会水泳競技大会開催に際しての施設使用料徴収について（伺い）

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、本専門部の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、別紙のとおり借料及び損料費が運営費を逼迫させている現状に基づき、参加各校から施設使用料の徴収を検討しております。下記の事情を勘案いただき、何卒ご理解、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

記

収入

- ・参加料は令和4年度より2,100円から3,000円に値上げしてコロナ禍（令和元年度）前より増収となった。R3年までの350万円からR4以降は470万円に増収。
- ・プログラムは令和3年度より全選手へ購入依頼して、雑収入の増収となった。

支出

- ・借料及び損料費は空調・冷房費が電気代高騰に伴い年々高額化している。また、屋内プールは屋外プールに比べて借用料が極端に高額である。

現況

- ・参加料（約460～480万円）が施設使用料を下回っている都県（神奈川県436万円・茨城県365万円・東京都550万円）がある。
- ・施設使用料の最大額550万（R5東京都）と最少額13万円（R1山梨県）の差額は520万円以上ある。
- ・毎年同じ構成のプログラムを作成しており、プログラム代の可変性を持たせることができない。
- ・不足金は開催都県水泳連盟から補助金として補填していただいている。R26～R6までの平均額は89万円である。100万円以上補助金をもらっているのは東京都・茨城県・栃木県である。
- ・東京都は高体連専門部負担金がH27：555万、R5：481万円であり、特に大きな負担を強いられている

変更点

- ・都県ごとの施設借用費の差異を考慮し、かつ、受益者負担を基本と考え、水泳連盟の補助金に頼ることなく大会運営を実施できるようにしたい。また、プログラムの購入は任意であった方がよい。そこで、プログラム購入を任意とする代わりに、開催地の施設規模・予算に応じた可変性を持たせつつ、不足金を出さないため、各校の参加費とは別に施設使用料を含めて徴収したい。

科目	H26千葉県	H27東京都	H28茨城県	H29栃木県	H30神奈川県	R1山梨県	R3栃木県	R4千葉県	R5東京都	R6茨城県	平均額
----	--------	--------	--------	--------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----

収入の部

補助金	都県	150,000	200,000	50,000	295,000	65,000	50,000	150,000	200,000	50,000	
	市町村	0	0	0	0	500,000	0	0	0	0	0
	都県種目団体	600,000	1,000,000	2,000,000	98,811	300,000	1,749,081	700,000	1,000,000	1,000,000	894,167
	関東種目団体	0	100,000	100,000	0	0	0	0	0	0	0
	その他補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金	都県高体連	460,000	300,000	500,000	295,000	400,000	500,000	460,000	300,000	500,000	
	高体連専門部	5,552,022	633,000	100,000	0	1,292,000	0	0	4,815,485	50,347	
	参加料	3,533,200	3,491,200	3,573,100	3,663,400	3,493,300	2,229,100	4,602,000	4,758,000	4,827,000	
雑収入(プログラム売上含む)		4,155,119	4,324,500	5,158,012	6,256,865	3,998,358	2,404,000	3,672,000	5,547,012	4,091,185	
計		8,898,319	14,967,722	12,014,112	10,709,076	10,048,658	6,932,181	9,584,000	16,620,497	10,518,532	

支出の部

プログラム	諸謝金費	251,400	439,572	282,720	458,500	210,529	933,024	167,300	528,000	581,745	160,000
	褒償費	28,144	25,920	52,850	96,282	0	150,809	0	57,200	54,780	163,460
	旅費	3,008,582	4,428,490	2,763,740	1,380,015	2,279,260	1,216,656	1,175,940	739,780	5,437,739	1,485,000
	消耗品費	88,822	1,715,425	2,787,729	2,731,958	939,814	2,430,789	1,921,901	3,593,937	873,634	1,972,097
	印刷製本費	1,382,400	1,113,812	707,400	1,331,316	1,342,321	1,637,440	1,167,870	1,000,000	1,235,740	1,551,000
	通信運搬費	32,508	31,572	44,694	31,830	76,415	112,150	12,060	14,860	32,042	73,351
	借料及び損料費	3,023,288	4,420,298	3,736,585	1,522,878	5,112,217	980,661	1,559,460	2,625,462	5,924,947	3,634,439
	会議費	154,200	657,369	682,370	0	0	634,710	0	0	737,688	63,528
	食糧費	848,829	2,068,045	937,744	1,186,706	747,440	1,938,749	865,850	992,277	1,667,907	927,653
	雑費	80,146	67,229	18,280	0	1,080	13,670	61,800	32,484	74,305	488,004
	予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8,898,319	14,967,732	12,014,112	8,739,485	10,709,076	10,048,658	6,932,181	9,584,000	16,620,497	10,518,532

プログラム	参加料	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	2,100円	3,000円	3,000円
	売上額	2,310,000	2,527,000	2,842,500	2,500,000	2,400,000	2,400,000	2,530,000	3,652,000	3,546,000	
	屋内・屋外	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	屋外	屋内	屋内	屋内	
	競泳	千葉県立国際水泳場	東京辰巳国際水泳場	茨城県立笠松運動公園水泳場	県立温水プール館	横浜国際総合水泳場	小瀬スポーツ公園選手権水泳場(外)	日環アリーナ水泳場	千葉県立国際総合水泳場	東京アクアティクスセンター	山新スイミングアリーナ
	飛込	千葉県立国際総合水泳場	東京辰巳国際水泳場	茨城県立笠松運動公園水泳場	栃木県総合運動公園水泳場	相模原市立総合水泳場	栃木県総合運動公園水泳場	日環アリーナ水泳場	千葉県立国際総合水泳場	東京アクアティクスセンター	山新スイミングアリーナ
プール	水球	東京辰巳国際水泳場	東京辰巳国際水泳場	茨城県立国際水泳場	宇都宮東高校	相模原市立総合水泳場	甲府東高校	日環アリーナ水泳場	千葉県立国際総合水泳場	東京アクアティクスセンター	茨城県立土浦第二高等学校
	施設使用料	2,835,715	4,367,864	3,652,595	1,425,840	5,102,217	128,280	1,542,783	2,625,462	5,501,670	2,588,275
	控え場所	観客席廊下・ロビー	サブプール・観客席	サブプール・観客席・ロビー	併設体育館	併設体育館・サブプール・観客席	武道館	併設体育館	観客席廊下・ロビー	サブプール・観客席・ロビー	サブプール・観客席・ロビー
	空調・冷房	プール○	プール○	プール○	プール○	プール○	武道館○	プール○	プール○	プール○	プール○
		プール○	プール○	プール○	プール○	プール○	プール×	プール○	プール○	プール○	プール○

関東高等学校水泳競技大会における施設利用料徴収に関する理由書（案）

令和８年度関東高等学校水泳競技大会（以下「本大会」）の円滑な運営にあたり、参加費のほかに会場の施設利用料として一人あたり **2,500 円**を追加で徴収することについて、次のとおり理由を申し述べます。

１．会場決定の経緯

本大会における競泳・飛込競技については、神奈川県内で全国規模の大会運営が可能な施設は横浜国際プールのみです。水球競技についても室内開催が可能な会場は限られており、利用料や過去の実績を踏まえ、平塚総合公園プールでの実施を決定いたしました。

２．施設利用に伴う費用負担の実情

横浜国際プールの使用料は、会場使用料に加え空調費を含めて約 460 万円を要します。また、平塚総合公園プールにおいても 1 日あたり 35 万円、4 日間で約 140 万円の費用が発生し、両会場の合計で約 600 万円の施設利用料が必要となります。

従来の参加費収入（1 人 3,000 円、約 1,700 名参加で計 510 万円）に加え、プログラム販売や協賛金収入により大会運営を支えてまいりましたが、これらの収入は不確定要素が多く、安定的な財源として見込むことが難しい状況です。さらに、既収収入は大会運営に必要な消耗品費、役員旅費等に充当されており、施設利用料を十分に賄うことができません。

３．受益者負担の必要性

本大会はインターハイに匹敵する規模であり、会場収容力や運営体制においても同等の準備が求められます。安全かつ円滑に大会を運営し、参加生徒にとって充実した競技環境を提供するためには、安定した財源確保が不可欠です。

このため、受益者負担の考え方にに基づき参加者の皆様に施設利用料として一人あたり 2,500 円のご負担をお願いし、大会運営を維持・継続していく必要があると判断いたしました。

以上の理由により、令和８年度関東高等学校水泳競技大会におきましては、参加費に加え施設利用料の徴収についてご理解とご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

令和8年度 関東高等学校水泳大会収支予算書

収 入

科 目		金 額 (円)	摘 要
補 助 金	都 県	295,000	神奈川県
	市 町 村	0	
	都県種目団体	0	
	関東種目団体	0	
	その他補助金	0	
負 担 金	都 県 高 体 連	295,000	神奈川県高体連負担金
	高体連専門部	0	
参 加 料		4,845,000	競泳@3,000×1400、飛込@3,000×15、水球@30,000×20チーム
施設利用料		4,237,500	@2,500×1695
雑 収 入		3,000,000	広告協賛2,500,000円、プログラム売上500,000円 (@2000×250冊)
合 計		12,672,500	

支 出

科目	金 額 (円)	摘 要
諸謝金費	344,000	看護師派遣料(@30,000×4日)、ライフガード依頼費(@8,000×7名×4日)
褒 償 費	0	
旅 費	2,650,000	競技役員 競泳・飛込@3,000×延600人 水球@3,000×延150人 補助役員 競泳・飛込@1,000×延250人 水球@1,000×延150人
消耗品費	722,500	ADカード・事務用品・プール用品・印刷機インク代・看板・熱中症対策飲料代等 カップ・レブリカ、プレート代@80,000
印刷製本費	1,495,000	大会プログラム印刷@1,200×1,200冊、賞状印刷@100×550
通信運搬費	110,000	郵送料・振込手数料・荷物送料等
借料及び損料費	5,990,000	横浜国際プール4,590,000円(プール、アリーナ等使用料@700,000×4.5日、空調費@320,000×4.5日)、平塚総合公園プール1,400,000円(@350,000×4)
会 議 費	11,000	会議お茶代(@100×120人)
食 糧 費	1,280,000	大会弁当代(@1000×320個×延4日) (弁当単価×個数×日数)
雑 費	70,000	ゴミ処理費(70,000円)
合計	12,672,500	

報告責任者 金子 太